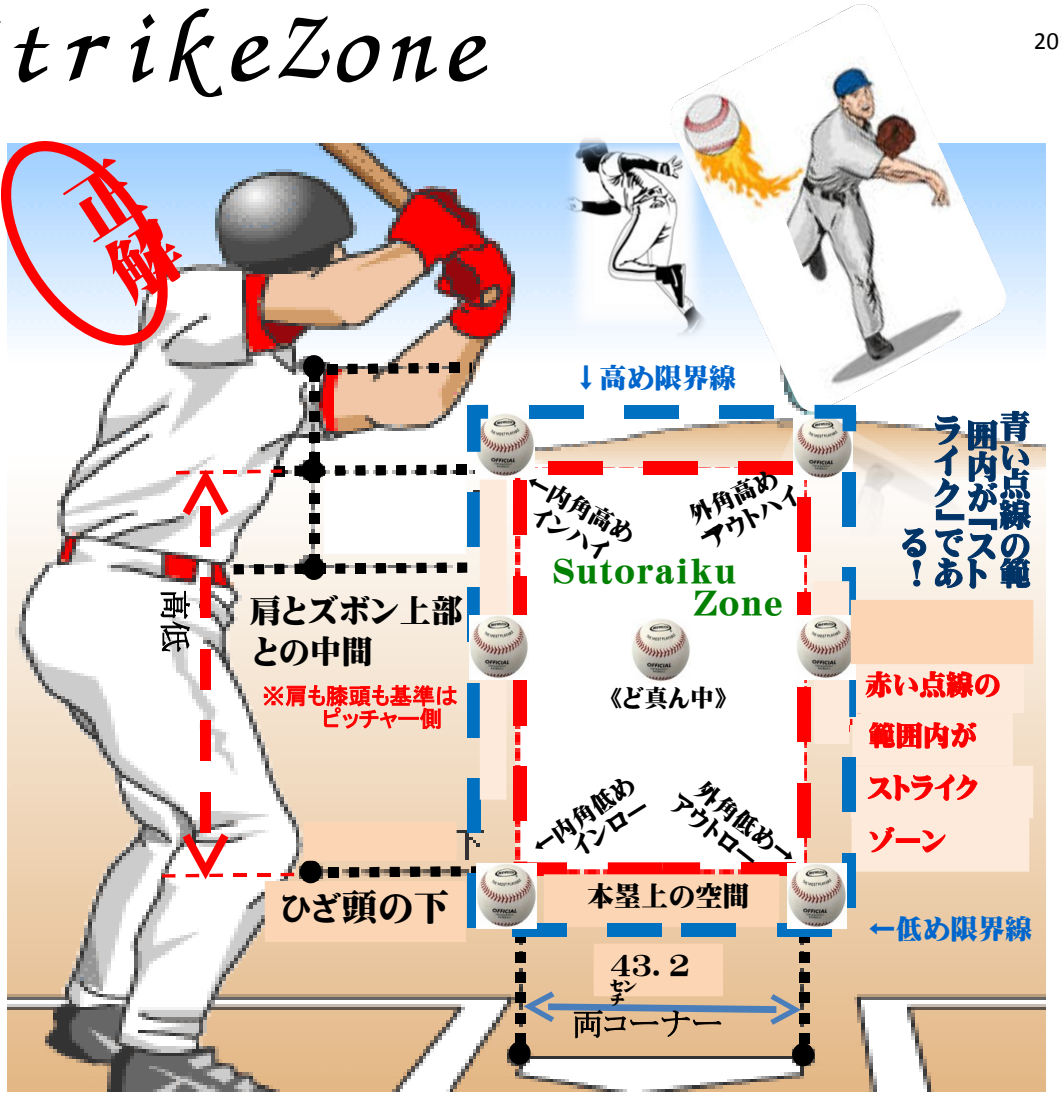
StrikeZone

2010/3/21



二・七三　STRIKE「ストライク」―次のような、投手の正規な投球で、審判員によって“ストライク„と宣告されたものをいう。

(a) 打者が打った（バントの場合も含む）が、投球がバットに当たらなかったもの。

(b) 打者が打たなかった投球のうち、ボールの**「一部分」**がストライクゾーンのどの部分でもインフライトの状態で通過したもの。

(C) ノーストライクまたは一ストライクのとき、打者がファウルしたもの。

(d) バントして、ファウルボールとなったもの。

【注】普通のファウルは、二ストライクの後はストライクとして数えられないが、バントのファウルに限って、ボールカウントには関係なく常にストライクとして数えられるから、二ストライク後にバントしたものがファウルボールとなれば、打者は三振となる。ただし、バントがフライとして捕らえられた場合は、フライアウトとなる。

(e) 打者が打った（バントの場合も含む）が、投球がバットには触れないで打者の身体または着衣に触れたもの。

(f) バウンドしない投球がストライクゾーンで打者に触れたもの。

(g) ファウルチップになったもの。

二・七四　SUTORAIKU　ZONE「ストライクゾーン」―打者の肩の上部とユニフォームのズボンの上部との中間点に引いた水平のラインを上限とし、ひざ頭の下部のラインを下限とする本塁上の空間をいう。このストライクゾーンは打者が投球を打つための姿勢で決定されるべきである。

【注】投球を待つ打者が、いつもと異なった打撃姿勢をとってストライクゾーンを小さく見せるためにかがんだりしても、球審は、これを無視してその打者が投球を打つための姿勢に従って、ストライクゾーンを決定する。

~~アマチュア内規~~　~~ストライクゾーン＝アマチュア野球では、ストライクゾーンの下限に関してだけ、**「ボールの全部」**がひざ頭の下部のラインより上方を通過したものとする。（規則二・七三）~~

※2009年よりアマチュア内規が無くなったので、下限も球１個分広くなった！！

上記青い点線の範囲内が「ストライク」コースである！